

西区自然観察ガイド



▲宮丘公園の芝生広場

手稲山、三角山など札幌を代表する山々がある西区。これからの季節、少し足を延ばして自然に触れてみませんか。今月号では、自然を観察する見どころを紹介するとともに、ヒグマなどの危険な動物の生態について紹介します。

平和の滝〜手稲山

地下鉄発寒南駅発 JRバス「発42」または地下鉄琴似駅発「琴42」「琴42-1」で「平和の滝入口」下車。平和の滝まで徒歩25分。



平和の滝

市内の滝では、南区のあしりべつの滝に次いで知名度が高い。琴似発寒川の上流に位置し、右股の滝ともいわれる。今より水量が多かったころは、近くの寺の道場として使われていたことも有名。滝への入口の手前は広場になっており、いくつかの碑が建っている。

自然歩道

平和の滝入口から手稲山南面を通り山頂に達する中級者向けのコース。札

幌の山々の中で最も変化に富んだルートとされる。天気の良い日には、山頂から遠く羊蹄山も望むことができる。また手稲山には、野鳥やリス、昆虫などの野生生物も数多く生息しており、登山の足を休め観察するのも楽しい。登頂までには、大人の足で約3時間を要することから、降りる時間も考慮して登り始める時間は少し早めがいい。

宮丘公園

地下鉄宮の沢駅発 JRバス「宮43」などで「西野3条10」下車。徒歩10分。または「循環宮51」「循環宮52」で「宮の沢3条3」下車。徒歩5分。

水道施設の上で作られた広大な芝生広場を持つ公園。ここは、見晴らしが良く西区の市街地を一望できる。ただし、夏場は木の茂みが視界を遮っているため、冬場の方が良い。冬場は西区はもとよりほぼ札幌全域を見渡すことができ、正月のご来光など朝日を見るには絶好の場所。

